

都会から手の届くちばの田舎暮らし・週末移住・定住体験事業

実績額 5,488,560 円（交付金 5,000 千円）

1 事業の目的・概要

本市は、東京圏にありながら房総半島の最南端に位置していることもあり、この 10 年間で、人口が約 6 千人減少しており深刻な問題となっている。これは、主に若者が進学・就職等を機に地元を離れてしまうことが要因であるが、その背景は、地域に魅力的な就職先が乏しいことである。

一方で、高速道路の整備に伴い東京まで約 70 分で行き来できるという利点があり、都心部の住民にとって、最も身近で田舎暮らしが始められる地域でもある。

人口流出が続く当市において、地方創生を図っていくためには、この地理的優位性を活かして、田舎暮らしや移住・定住に関心があるが、さまざまな不安があり移住への一歩が踏み出せない都市部の住民を中心に、地域全体で PR していくことで移住・定住を加速させる。

また、企業立地が進まない地域だが、交通アクセスが改善されてきたことから、市町村合併や人口減少に伴い増えている空き公共施設を活用して企業を誘致することで、移住希望者のみならず、就職先を求めて都市部へ出て行かざるをえない若者の雇用の受皿を創出する取組を併せて行い、地域経済の活性化を図る。

2 事業の内容

- (1) 首都圏 PR・交流イベントの開催〔平成 28 年 8 月 4 日(木)：HAPON 新宿〕参加者 25 名
新しい働き方や 2 拠点ワーク、サテライトオフィスなどをテーマにゲストトークやワークショップを開催。
- (2) 現地フィールドワークの開催
 - ・会社員向けセミナー〔平成 28 年 9 月 3 日(土)〕参加者 10 名
南房総に出社をしてみて、ワークショップや業務を行うことで、南房総の近さや 2 拠点ワークの可能性を体験。
 - ・起業家向けセミナー
 - 1 回目〔平成 28 年 9 月 10 日(土)、11 日(日)〕参加者 10 名
 - 2 回目〔平成 28 年 10 月 1 日(土)〕
地域課題解決と新しいローカルビジネスの事業プランをつくる実践的な講座。
 - ・経営者向けセミナー〔平成 28 年 10 月 15 日(土)〕参加者 6 名
サテライトオフィスでのリモートワークなど新しい働き方の実践者の講演。
- (3) 首都圏まとめイベント〔平成 28 年 12 月 2 日(金)：HAPON 新宿〕参加者 28 名
各事業を振り返り、アイデアや課題を共有することで、新たな取り組みの創出。
- (4) 特設サイトの構築や企業・起業家向けパンフレットの作成
市内で起業した方の事例紹介などを掲載した特設サイトの構築や南房総のデータや支援制度のほか、起業、移住者のインタビューを掲載したパンフレットの作成。



首都圏 PR・交流イベントの様子



廃校を活用したローカルビジネスプラン検討状況

資料 4 別紙